

サステナビリティハイライト

安全の徹底

安全管理の基本 日々の朝礼

安全朝礼は、現場で共に働く人全員の安全徹底に重要な役割を持ちます。安藤ハザマの社員は施工実習をともなう長期の新入社員研修においてその大切さを体験し、より深い学びを得ます。

8 働きがいも
経済成長も



安全の徹底は、働きがいの基本

国連は、SDGsの目標8「働きがいも 経済成長も」を通じ、ディーセントワークを社会全体で実現することを唱えています。安藤ハザマもグローバルに展開する建設会社としてその価値観を共有しています。特に安全衛生は、共に働く人々がいきいきと働きがいを持ち業務に従事するための基本と考え、その徹底を図っています。

CASE
03

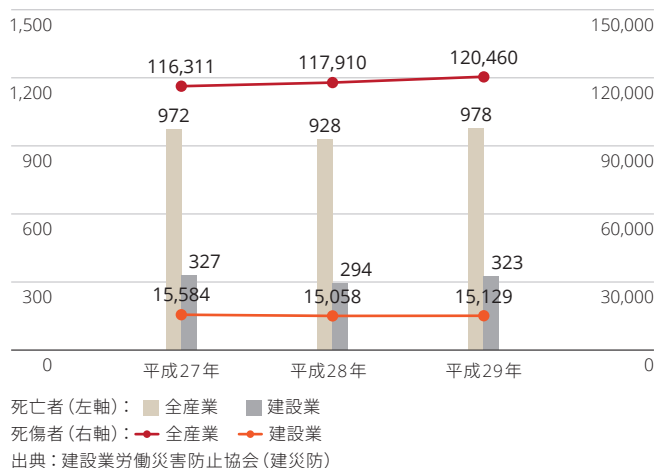
SUSTAINABILITY HIGHLIGHT



業界を挙げて取り組む、労働災害の抑止

建設産業における労働災害の発生件数は、長年にわたる国や業界を挙げての取り組みが実を結び、着実に減少しています。建設業労働災害防止協会(建災防)の統計によると、建設業での死傷者数が平成元年の63,847人から平成29年は15,129人になるなど、その成果は顕著です。しかしながら足もとでは死傷災害、死亡災害共に過去最少の発生件数であった平成28年から平成29年は増加しています。その背景として、ここ数年の慢性的な人手不足や労働力の高齢化といった構造的な要因も考えられることから、労働災害を極小化させるという使命に向けて業界全体で一層の危機感をもって取り組みを進めています。

● 死傷者数および死亡者数の推移(平成27年～)



安全な職場を

新入社員研修の重要プログラムである、安全教育

安藤ハザマの新入社員は、入社から数ヵ月間にわたり研修用宿泊施設「TTCつくば」を拠点として、さまざまな研修を受けます。

土木・建築それぞれに実施される、座学や模擬現場での施工実習など多岐にわたる研修プログラムでは、安全研修を織り込み、より確かな意識・技能習得を図っています。特に施工実習では常に安全管理の基本が指導され、実際の事故を想定したシミュレーション教育等を通じて、危険管理ならびに危機回避行動を社員一人ひとりが学びます。



施工実習の風景



入社時より徹底する、安全への取り組み

安藤ハザマは「安全はすべてに優先する」という安全衛生基本方針を掲げています。この言葉が持つ重みを一人ひとりが真摯に受け止め、安全衛生管理水準のより一層の向上と労働災害の撲滅に日々取り組んでいます。



経営陣を先頭に推進する安全管理

現場の安全を守り、管理する立場として

安藤ハザマの社員は、建設現場で協力会社と力を合わせ確実な施工を行う責任を負います。安全衛生管理の徹底は、特に重要な任務です。この実現のため、職位に応じた安全管理研修の徹底はもちろん、安藤ハザマ協力会を通じた啓発活動を行っています。

実施に際しては、分かりやすいルールブック「安藤ハザマの安全ルール」に加え、直観的に安全管理の諸要素が目視できる「安全掲示板」を作成・活用することで、現場全員での励行を心がけています。



一日の安全ルールを見える化した安全掲示板

建設業全体でつくる